



占冠村長
田中 正治



村

民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。ご家族そろって健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年の村長選挙においては、ご理解と温かいご支援によりまして無投票で3期目の栄を与えていただき、心より感謝し厚くお礼を申し上げます。

改めて、村民の皆さんとお約束をした政策を着実に前へ進めることが、私に課せられた責任であるとの思いを強くしているところです。

この1年を振り返ってみますと、コロナ禍を乗り越え、地域活動や経済活動が戻ってきた実感が沸く状況になってきました。一方で、少子高齢化や後継者不在といった中で、事業縮小や離農といったこともあり、基幹産業である農業を守り育てる努力を続けることが必要と思える年でもありました。

もう一つの基幹産業である観光産業にあっては、占冠村を訪れた入込人数が146万人を超える状況になり、村内にも活気を感じることができるようになりました。道の駅「自然体感しむかつぶ」や湯の沢温泉「森の四季」、赤岩青巖峡でのロッククライミング、自然を楽しむアウトドアなど多くの方を迎え入れました。トマムリゾートにおいては、延べ宿泊数で60万人を超え、日本でも有数のリゾート地として定着してきました。

また、関係人口を増やすことが地域振興にもつながるといわれている中、ふるさと祭りや紅葉まつりなどのイベントも行われ、村民はもとろん多くの方が来訪され、盛会に開催されたことをうれしく思っています。

迎える新年に向けては、村長3期目のスタートの年になりますので、村民の皆さんとお約束をした政策実現や地域状況に合わせた政策実行のため、着実に前へ進めなければと考えております。新たな気

持ちで村発展のため努力し、持続可能で誰もが報われる社会をめざすことが、私に課せられた責務であるとの思いで今年も頑張ります。引き続き、村民の皆さんのご配慮とご支援により、誰もが安心して暮らせる村づくりを進めてまいります。そして、迎える新年が希望の持てる年になるよう期待をしております。

今年は「午年」です。干支の動物に当てはめると馬ですが、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」だそうです。「丙午」は、情熱と行動力で突き進む、燃え盛るようなエネルギーで道を切り開くといった縁起の良い干支だと考えられています。午年に生きた人は情熱的で行動力がある、明るくポジティブ、独立心が強い、リーダーシップがあるといわれています。午年のイメージは元氣いっぱい駆け抜ける馬のようにエネルギーで活気ある1年です。また、困難を乗り越え、大きな発展を

遂げる可能性を秘めた年と解釈されています。

2026年の「午年」は、復活と再生を果たし地域活動、経済活動が長期的には幸運につながる信じ、目の前の出来事に一喜一憂することなく、健康に留意しつつ、充実した1年になってほしいものです。

本村の基幹産業である農業や観光産業の進展、生活の基盤である福祉や医療の充実、そして教育や子育て環境の充実など、迎える新年は熱意を持って着実に物事を進め、将来の成功へつながればと願うところです。

村民の皆さんとともに、全力で村づくりに取り組んでまいりますのでご支援、ご協力をお願いいたします。

村民各位におかれましては、新年が希望に満ちた素晴らしい年でありますようお願い申し上げます。

皆

さん、明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たりまして占冠村議会を代表し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は議会に對しまして深いご理解と議会活動への温かいご支援・ご協力を賜りましたことに議員一同厚く御礼申し上げます。

今年の干支は昭和41年以来、60年ぶりとなる「丙午（ひのえうま）」です。「丙」は十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされ、「午」は干支の7番目、古くから人間とともに生きてきた動物で独立心が強い「丙午」の年は勢いとエネルギーに満ちて挑戦や行動が実を結びやすく、自分の力を発揮できる年とされていますので、村民の皆さんにとって、大いなる飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

さて、現在、全国の町村議会が直面している最大の課題

の一つに議会議員の「なり手不足」問題が挙げられます。町村議会議員選挙における無投票・定数割れ団体数は前回の令和5年では全体の25%を超え、来年の統一地方選挙においては、34%を超える町村が無投票となる可能性が指摘されており、「なり手不足」問題は一部の町村議会の問題だけでなく、自治意識の低下による地方自治の弱体化を招く重要な問題でもありますので、我々議会においてもこの1年、さまざまな要因が内包された難題ではありますが、多様な人材が参画する議会を実現するための活動も加味していく必要があると考えております。

自然災害におきましては、今や全世界的な傾向でありますが、気候変動により昨年も猛暑が続く、住民生活や農作物等に多大な影響を及ぼしました。

議会におきましては役場をはじめとした村内公共施設への

のクーラーの設置、あるいはクーリングシェルト等の備えも現実の問題として議論の俎上に上げておりますが、本年も同様の状況に至るものと考えられますので、くれぐれもご注意ください。ようお願いいたします。

また、議会の活性化事業の一環として継続しております村内中学生・後期課程生とのコミュニティ・スクール議会も昨年で8年目を迎え、当初の目的でもありました、より議会の仕組みというものを知ってもらふこと、中学生らしい感性で学校生活や村づくりを考えてもらうことから昨年「模擬議会」形式にして生徒が一般質問を行い、各議員が答弁をする形として開催いたしました。令和5年に施行された「こども基本法」に基づいても、子どもたちの意見を反映させるための貴重な場であり、さらに議会を知ってもらふ絶好の機会でもありますので、学校側とも連携しな

がら、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

村政において山積している課題は多岐にわたっておりますが、我々議会としましては、議員同士さらに切磋琢磨して、二元代表制の一翼を担う議会として自主性を高めながら、分かりやすく開かれた議会の構築に努めてまいりたいと考えておりますので、どうか本年も議会に對し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が村民の皆さんにとりまして穏やかな幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、各位のますますのご健勝、「丙午」にふさわしいご活躍をご祈念申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

占冠村議会議長
児玉 眞澄

